軽井沢ライフのための情報紙 ● *Karuizawa News Paper* No.166

軽井沢新聞

4/10 April 2017

編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27
身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

軽井沢人物語

東京都テニス協会常務理事
軽井沢会委員

太田 和彦 さん

両陛下ともテニスでプレー「一度は全日本チャンピオンに」

2005年から毎春開催している「軽井沢フューチャーズ・テニストーナメント」（今年は5/29～6/4）のディレクターを務める。若手の男子プレーヤーが海外へ遠征しなくても、ポイントを得られるようにと、軽井沢にゆかりのあるテニス仲間で立ち上げたのが始まりだ。

レフェリーやラインズマンのアレンジ、宿泊場所を予約しないで来た海外選手の宿の手配など「毎年、試合以外の雑務に追われています」。

自身のテニスの腕前も相当なもの。ここ20年は、年代ごとのカテゴリー上位プレーヤーで競う「全日本ベテランテニス選手権」に毎年出場。53、57歳のときシングルス、ダブルスともに、日本ランキング4位に入ったこともある。「全日本チャンピオンに一度はなってみたいね」と目標を口にする。

祖父は昭和初期に活躍した、テニスプレーヤーの太田芳郎氏（1900-94）。結核で長期療養していた父に代わり、面倒をよく見てくれた。小学生の頃は、北軽井沢に別荘があり、草軽鉄道で一緒に訪れた。

「『学校より山から学ぶことの方が多い』というのが教え」と、地元の子どもと、石を投げて落とした蜂の巣から蜂の子を採って食べたり、滝壺で岩の下を探ってヤマメを手掴みしたり…遊びを通じて、自然から多くを吸収した。「パンツ一丁で、唇を紫色にして泳いでいました。東京では考えられない」

芳郎氏が長年、東京ローンテニスクラブ（天皇皇后両陛下は名誉会員）の支配人を務め、父が聖心女子大テニス部（美智子さまがキャプテン）の顧問をやっていた縁で、皇室とも繋がりがある。浩宮さまとダブルスを組んで、両陛下と対戦したことも。

工房で手作りした革細工や、現地で買い付けたアメリカンインディアンジュエリーを販売する店舗を、旧軽井沢で40年以上営業している。本店の「グリーングラス」は、ジョン・レノンも常連だった。ある日、息子のショーンの手を引き、嬉々とした表情で訪ねてきた。

「『ショーンが（諏訪神社の）相撲大会で勝ったんだ。ベルトを作ってほしい』と言うから、＜SEAN SUMO CHAMPION＞と革に彫りましたよ」。

1952年生まれ。現在は一年のほとんどを軽井沢で暮らす。コートが使えず、練習相手もいない冬は、片道1時間かけ伊勢崎まで行くことも。トーナメントの準備に、自身の練習と、忙しい春がまたやってきた。

「軽井沢の精神に合わず」風俗審議会も町に賛同
カジノの設置認めない

避暑地・軽井沢の原点、第一号別荘を復元した旧軽井沢のショーハウス。

軽井沢町は3月23日、カジノを中心とした特定複合観光施設の区域整備について「推進しない」考えを明らかにした。その理由として、ギャンブル依存症の誘発や反社会勢力の関与などの懸念、これまで同様、引き続き善良なる風俗を維持し、緑豊かな高原の自然を守りながら、国際親善文化振興都市の建設を優先する必要があるとしている。

町は3月17日に開いた軽井沢町風俗審議会（10人中2人欠席）にも意見を求めた。委員からは「経済効果は大きいと思うが、軽井沢町の町民憲章に反する。町で取り扱うものではない」「（軽井沢を拓いた宣教師らが唱えたスローガン）『娯楽を人に求めず、自然に求めよ』という精神に合わない」と、町の方針に賛成する意見が挙がっていた。

町の風紀問題について審議する軽井沢町風俗審議会。（3月17日）

軽井沢22世紀風土フォーラム、町へ提言
良質なまちづくりに「軽井沢賞」を

住民主体で行政とまちづくりを考える「軽井沢22世紀風土フォーラム」の基本会議は3月24日、軽井沢発地市庭で会合を開き、良質なまちづくりに努めた個人や企業を顕彰する制度の導入を、町に提言することで合意した。町民らから風土フォーラム事務局に寄せられた53件のまちづくり提案の中から、第一優先政策として選んだ。

「景観、環境保持のため、ビジネスライセンス（事業者認定制度）導入を」という提案をふまえた。規制するのではなく、良い取り組みをした企業や個人を「軽井沢賞」などと表彰することで、活動を町全体へ広げたい考えだ。

他には、休耕田を使ったドジョウの放流や古代米の栽培、渋滞税の導入や自転車道整備の推進、軽井沢で余生を過ごしている優秀な人材に活躍の場を与える登録制度などを、提言事項として推す委員もいた。

横島庄治会長はフォーラム発足から一年を振り返り、「手探りでスタートしたが、非常にユニークで先進的な、魅力ある議論を続けられた。来年度からも議論をさらに深化させて、新しい軽井沢作りに貢献できれば」と話した。

町の将来像を考える「軽井沢22世紀風土フォーラム」。15人の委員で構成し、昨年5月から6回、基本会議を開いた。

Karuizawa Style
軽井沢 Vignette（ヴィネット） 2017 上巻
800yen
4月21日発売

特集 この場所だからできること・やりたいこと
軽井沢という選択
特別企画 建物ウォッチング名人が行く
渡辺篤史さんの別荘探訪
特集 憧れだけでは暮らせない。現実は…
軽井沢に移り住む
今日はこの店 おすすめメニューや魅力の品
軽井沢新聞社

軽井沢で安心のリフォーム店をお探しの皆様へ
※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。

三井のリフォーム5つのお約束
1. お客様のご要望をすべてお聞きします。
2. 資格の無い監督には任せません。
3. 追加工事はお客様のご確認いただいた後で。
4. 価格以上の満足をご提供します。
5. 今まで過ごされた思い出を大切にします。

リビングダイニング / 寝室・和室・書斎 / 洗面・トイレ / キッチン・浴室 / 外観・エクステリア / 水漏れ・雨漏り
あなた様のご予算に合わせてご提案させていただきます。

軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業
リフォーム一筋16年
都市に豊かさと潤いを 三井不動産グループ 三井のリフォーム® 軽井沢店
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42〈営業時間〉9:00～18:00
見積り無料!! 悩んでいないで、まずはお電話ください！ (0120)278-321
WEBで検索! 三井のリフォーム軽井沢店 検索
ホームページが新しくなりました。
www.karuizawa-reform.com
メール karuizawa@mitsui-reform.com
三井のリフォーム軽井沢店 軽井沢高校 軽井沢警察署 国道18号線 至小諸 至軽井沢駅 長野新幹線 しなの鉄道 国道18号線軽井沢高校となり

優秀賞 HOUSE OF THE YEAR IN ENERGY 2016
ハウス・オブ・ザ・イヤー2016
優秀賞を受賞しました。
大井建設の新商品「太陽の家」が「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2016」で優秀賞を受賞しました。これにより、大井建設が建てる住宅が断熱性と省エネ性能に優れた住宅であると認められました。

ハウス・オブ・ザ・イヤー2016 優秀賞受賞
ゼロ・エネルギー住宅
「太陽の家」誕生
自由設計（寒冷地仕様） 34坪 1,698（税抜）万円
※屋外給排水工事、金融機関に支払うローン保証料、登記等に関する費用（登録免許税、司法書士等への報酬）、火災保険は別途必要になります。

H29.3.31 授賞式にて、審査委員長と記念撮影

長野信頼工務店 ©ISO 9001認証取得 ○一級建築士事務所(佐久)第86058号 ○長野県知事許可第16-22第12426号
本社／長野県北佐久郡御代田町馬瀬口1670-74 TEL.0267-32-3333(代) FAX.0267-32-2935
軽井沢営業所／長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢1323-42 TEL.0267-41-4321
大井建設工業株式会社
ホームページ／www.kosodate-ouen.com 大井建設 子育て 検索
(0120)33-4152
メールでのお問い合わせはこちら thanks@ooi-kensetsu.co.jp